

令和4年度 日本ホッケー協会中学校部会 事業報告

●会議：会議 ■大会：大会(抽選会) ◆遠征：遠征(選考会) ★部会：その他、中学校部会としての活動

●会議	5月28日(土)	第1回常任委員会 (JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE にて開催)
★部会	年間を通じて	○JHAとの連携 ・選手育成体制への協力(組織作り・地区代表選手の選考) ・J-STAR プロジェクトへの参画など新たなパスウェイ構築への取り組み ・公認審判員、競技役員の養成 ・自主財源確保の努力、具現化する方策として「個人登録金」の徴収
■大会	7月下旬 ～8月上旬	・東北ブロック [7/22～24 福島県棚倉町ルネサンス棚倉] ・関東ブロック [7/30～31 日光市ホッケー場・今市青少年スポーツセンター] ・北信越ブロック [7/29～31 長野県赤穂中学校グラウンド] ・東海ブロック [7/16(17) 清水町総合運動公園 多目的スポーツ広場] ・近畿ブロック [8/6～7 天理親里ホッケー場(第1フィールド)] ・中国ブロック [7/30～31 山口県玖珂総合公園人工芝グラウンド] ・四国ブロック [7/24 松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場] ・九州ブロック [7/23～24 大分県玖珠町メルヘンの森ホッケー場] ○なお、各ブロック大会において、地区代表選手(東地区：男20人、女19人、中地区：男36人、女34人、西地区：男26人、女15人)計150名を選考し、リストをJHAに上程 ⇔NTSとの連携(選手データを上程・認定書授与)
■大会	8月8日(月)	全国大会抽選会 (宮城県栗原市役所金成庁舎2階会議室)
■大会	8月19日(金) ～22日(月)	JOCジュニアオリンピックカップ 第52回全日本中学生ホッケー選手権大会
●会議	全国委員会 (中止) 監督会議(8/17) オンライン	(宮城県・築館多目的競技場、一迫多目的広場) *大会成績 =男子の部= 1位：横田中(島根県)、2位：朝日中(福井県) 3位：織田中(福井県)、川口・一方井中(岩手県) *最優秀選手：古澤 知宙(島根県・横田中) =女子の部= 1位：石動中(富山県)、2位：今市・落合中(栃木県) 3位：伊吹山中(滋賀県)、東原中(栃木県) *最優秀選手：丸山 はな(富山県・石動中)

●会議	8月23日(火)	全中大会 優秀選手選考会議 *事前に明確な選考基準を提示して、透明性のある選考をめざす。 今年度も監督推薦を重視した方法により選考を行った。
◆強化	9月17日(土) ～19日(月) 9月23日(金) ～25日(日)	ジュニアユース(U-15)選手選考会 宮城県(男子) ジュニアユース(U-15)選手選考会 愛媛県(女子) *男女各30名の候補者を中学校部会として選考した後に、JHA選手・スタッフ選考会議を経てオールスター戦に出場するメンバーを正式決定 *今年度も新型コロナウイルス感染拡大の観点より、男女分かれての開催となった。双方人工芝・付帯施設共に素晴らしく、宿泊施設も充実しており、選考会を行うにあたって施設・経費共に大変良い環境であった。また、コロナ禍ということもあり、できるだけ少人数(中学部会スタッフ)で運営をしようと試みた。しかしながら、スタッフのみできない部分を愛媛県、宮城県とも中体連の先生方やコーチの皆様方に選考会を手伝っていただいたことに改めて感謝したい。
■大会	10月9日(日) 11月12日(土) ～13日(日) 監督会議(11/11)	1 1人制大会抽選会(福井県・越前町) 第2 3回全日本中学生都道府県対抗 1 1人制ホッケー選手権大会(福井県・越前町) =男子の部= 1位:岩手県、2位:滋賀県、3位:福井県、島根県 =女子の部= 1位:福井県、2位:岩手県、3位:滋賀県、栃木県 3年ぶりの大会実施となり、大変盛り上がった。また、中学校部会の中に1 1人制大会実行委員会を設置し、若手の先生方を中心に取り組んだ。
◆強化	12月3日(土) ～4日(日)	ジュニアユース(U-15)ナショナルチームオールスター戦(滋賀県) *JHA「事業計画」の競技力向上(強化)事業に掲げられた目標を具現化すべく、日本代表チームを編成し海外遠征を継続的に実施しているが、昨年度同様、今年度は海外渡航が叶わないため、代替事業としてオールスター戦を実施した。
◆強化	1月	ユース(U-18)地区選考会への参加・・・強化の連携事業 男女10名程度ずつユース(U-18)地区選考会に参加した。
●会議	2月25日(土) 2月26日(日)	第2回常任委員会(YIC 京都工科自動車大学校)

文責：徳光 寿(中学校部会事務局長)